

令和7年度事業報告書

1 全 般

法人及び施設運営の大きな支障となる事案、法令違反等に抵触する事案等は認められず概ね事業計画に沿った運営が図れました。しかしながら実施細部におきましては、前年度に引き続く在所入所者の減、諸物価高騰、コロナ等感染症及び介護職員の欠員等により随所に少なからぬ影響が生じました。

2 法 人

(1) 組織運営

ア 運営

法人の運営は、特に問題等もなく実施し、理事会を4回及び定時評議員会を1回開催しました。

イ 理事・監事の改選

本年度は、6月に2年の任期が満了となったことによる改選を行い、改選前理事6名、改選前監事及び改選前理事長がそれぞれ再任されました。

ウ 監査等

法人監事及び内部監査人による監査が計画にもとづき実施されました。特に問題となる事項等の指摘等はありませんでした。

(2) 収支状況等

収入216,436千円、支出233,125千円となり、当期資金収支差額は16,689千円の支出超過となりました。

ア 収入

総収入の殆んどを占める介護保険事業収入の減等が主因となり、当初予算に対して約15,000千円の減収となりました。

イ 支出

(ア) 次のことにより当初予算支出に対して増となりました。

- ・人件費(法定福利含め)の増
- ・給食費、光熱費、介護・保健衛生費等多数の支出の諸物価高騰等による増
- ・老朽化等による器具備品、物品の更新、修繕の増
- ・重度化入所者増による介護用品(車椅子、エアーマット等)の補完増

(イ) 新規整備等として次の支出を行いました。

- ・入所者居住区エアコン全室内機の洗浄
- ・入所者状態のリアル状況把握のため情報モニターを購入
- ・防犯対策向上のため職員出入口にテンキー電子錠を設置

ウ 補正

次の2回の補正を行いました。

(ア) 10月

島根県介護人材確保・職場環境改善等事業費補助金他2件の補助金等示達により、その他の収入(事業活動収支)を2,335千円増

(イ) 3月

人件費、給食費、介護用品費他4科目の支出増により8,742千円増

エ 移行時特別積立資産の取崩し

資産総額6,959千円のうち2,137千円を備品購入、修繕等に使用し、残4,822千円は8年度に繰り越しました。

平成11年度以降、資産として保有していました介護保険移行時の際に生じた繰越金を本年度、理事会の承認を得て関連規則にもとづき取崩しました。

オ 予備費

予備費2,000千円を修繕費、消耗器具備品費、保健衛生費及び器具備品費の計画外支出に充当しました。

(3) 人事・処遇等

ア 人事

本年度の採用は介護補助2名、宿直管理員2名で退職は介護職員（フルタイム）2名、宿直管理員1名でした。

介護職員2名の退職は、勤務維持に少なからぬ影響を生じております。補充は、業界全体の求人状況が極めて難しく埒らぬ状況です。このため、この状況を補う方策として、専門技術を要しない業務を担当するため介護補助の導入を行いました。

イ 処遇改善

介護職員等処遇改善加算として国から示達された20,940千円を使用して基本給の増額、手当支給等での処遇改善を図り、介護職員（フルタイム）で平均月33千円増額となる改善を行いました。

また島根県介護人材確保・職場環境改善等事業費補助金1,299千円の助成を受け全職員に一時金として支給し処遇改善に活用しました。

ウ 職員1名が育児休業を取得した他、4名の職員が子供養育のため短時間勤務制度を利用しております。

(4) 諸情報等の開示

6年度の法人現況、財務諸表等を電子開示システム及び法人ホームページで開示を行いました。

(5) 社会福祉充実計画

10ヶ年計画9年目の本年度は約2,500万円を使用し「職員の給与等改善」、「低所得入所者利用料の減免」等を行いました。

なお計画開始時の対象額約4億5千万円は、計画終了となる8年度末の計画残額は約1億円としており、7年度末の使用対象となる残額は約1億1千万円でした。

(6) 災害等対策

台風、積雪等による災害等の発生はありませんでした。なお大雪が予想された際には、除雪対応・勤務補完対応のため職員を夜間、施設待機としました。

(7) 補助・助成等

ア 島根県より次の補助等を受け職員の処遇改善及び物価高騰対策に充当しました。

- ・ 島根県介護人材確保・職場環境改善等事業費補助金 1,299千円
- ・ 島根県物価高騰対策応援金 997千円

- ・島根県 LP ガス協会価格緊急支援給付金 38 千円

イ 厚労省及び松江市より感染症対策として次の配分を受けました。

- ・厚労省 ブラ手袋 4 千枚
- ・松江市 サージカルマスク 1 万枚

3 施 設

利用状況等

ア 特養(定員：50 名)

(ア)新規入所者は 17 人(6 年度 24 人)、退所者は 19 人(6 年度 17 人)でした。また看取りは 10 人(6 年度 6 人)でした。

(イ)年度利用率は、93.9%(6 年度 88.8%)と前年度より増加しましたが、入院者の増加により平均在所率は 85.9%(1 日平均 43 人)でした。入院者は延べ 1,456 人(6 年度 893 人)でした。

(ウ)入所者のうち要介護度 4 及び 5 は入所者総数の約 96%となっており、平均介護度は 4.4、平均年齢 90 歳、90 歳以上は全体の約 60%でした。

(エ)入所者の地区別入所率は、境港市からの入所者が全体の約 50%、美保関町から約 30%となっています。

イ 短期入所(定員 5 名／日)

(ア)年度利用率は 19%(6 年度 31%)、利用延べ人数は 349 人(6 年度 573 人)と前年度に比べ減少しました。利用者の平均介護度は 2.2 でした。

(イ)利用者居住区域は、すべて美保関町内となっております。

(2) 苦情、虐待等及び事故報告

ア 苦情、虐待はありませんでした。

イ 松江市に事故報告として利用者に係る内容 4 件（骨折入院 3、コロナ施設内感染 1）を報告しております。

(3) コロナ・インフルエンザ感染

6 年度 2 度のコロナ施設内感染の発生があり、今年度は感染防止について一層の諸防止施策を講じておりましたが、今年度も 2 度の施設内感染が発生しました。発生に際しては、感染拡大防止に最大限の対応を傾注した結果、6 年度に比べ感染者数は約 1／3 で終息することができました。

8 月 コロナ 期間：12 日間 感染者：利用者 4 人 職員 1 人

11～12 月 インフル 期間：10 日間 感染者：利用者 7 人 職員 2 人

(4) 行事等

ア コロナ・インフル感染発生及び防止対策のため、昨年度までと同様に夏まつりを含め諸行事の大半を中止しましたが、彼岸供養及び地元中学生の体験学習の受入れについては実施しました。

イ 入所者の不在者投票を施設内で行いました。

松江市長・市議選挙不在者投票 ：投票者 6 名

参議院選挙不在者投票 ：投票者 5 名

(5) 職員研修

職員の資質向上を図るため、実地及びオンライン利用による施設外研修 10 件に

14名の職員を参加させました。また1名が施設助成によりケアマネ資格を取得した他、今年度講習として3名が受講しております。

(6) 地域交流

コロナ・インフル感染防止対策のため、昨年度同様に地元との諸交流あるいはボランティアの施設訪問による演芸等は全て中止しましたが、地元中学生の体験学習の受入れについては実施しました。